

各科紹介コーナー

がんセンター

がんセンター 副センター長 栗本 太嗣

がんセンターについて紹介いたします。当院は東京都がん診療連携協力病院（肺がん、乳がん、大腸がん）に指定されています。呼吸器内科では、肺癌中心に、乳腺外科では乳がん、消化器外科では消化器がんに対する薬物療法を日々行っています。近年抗悪性腫瘍薬治療の進歩、変化が著しく細胞障害性抗がん剤、分子標的薬、血管新生阻害薬、免疫チェックポイント阻害薬を用いて初回は入院にて、その後は患者側の御希望、生活環境などに応じて入院・外来両方で治療しています。外来化学療法室は、リクライニングチェア6席＋予備席で午前枠と午後枠で稼働しています。ほぼ満席状態で今後席数を拡大する予定です。医師が行ってきた静脈留置に関しては、専門的技術と知識を兼ね備えた院内認定のIVナースが誕生し看護師側でルート確保をするようになり、より円滑に治療を行っています。各診療科医師、薬剤師、「がん化学療法看護」認定看護師含む外来看護師、栄養科、医事課が参加する外来化学療法委員会は毎月開催し、治療薬に関して、外来化学療法室の状況、問題点などを話し合っています。注射抗悪性腫瘍薬治療の延べ件数は、外来で170～180件/月、入院で90～100件/月です。今後も安全で適正ながん薬物療法ができるように取り組んでいきます。



桜まつりを開催しました



事務部庶務課 桜まつり事務局 松田 源太

新入職員の歓迎ならびに院内の職員の多職種間交流を目的に桜まつりが開催されました。

桜まつりはコロナ禍の影響により2019年以来中止となっておりましたが、今年は感染対策に十分注意し実に4年ぶりの開催の運びとなりました。

桜まつりでは普段接することのない他部門の職員と交流し、大盛況の中無事終わることが出来ました。

来年度も桜まつりが開催できることを祈っております。

末筆になりましたが新入職員の皆様、ご入職おめでとうございます。





「北多摩北部医療ネットワーク (ID-Link)」について

副院長・情報システム部長 早乙女 幹朗

医療機関から他の医療機関に患者さんを紹介する場合には、紙の「診療情報提供書」に検査結果や病名、治療経過などを記載し、画像データをCD-Rなどに記録して患者さんにお渡しするのが一般的な流れとなっています。近年では、これに加えて医療機関どうしで電子カルテの情報を共有するネットワークサービスの利用により、より詳細で幅広い診療情報提供ができるようになりました。当院では従来より(株)日本電気の「ID-Link」を用いて当院の電子カルテ情報を患者さんの同意のもとでクリニックなどの先生方に提供してきましたが、2024年4月からは、複十字病院・公立昭和病院・東京都立多摩北部医療センターの3つの病院で互いに電子カルテ情報の閲覧をおこなう「北多摩北部医療ネットワーク」が稼働いたしました。患者さんひとりひとりに同意をいただいて設定をおこなうことにより、3病院の医療従事者がそれぞれの電子カルテの検査結果や画像データ、治療内容などを1つの画面で時系列にならべて閲覧することができます。他院で行われた検査結果を容易に参照できますので、診療の効率や質の改善にとても役立つ仕組みです。3病院間での運用のすり合わせには一定の時間を要しましたが、今般、無事に滑り出すことができ、患者さんの登録は順調に進んでいるところです。今後は救急患者対応の機能も利用していく計画となっており、このシステムを地域医療のスムーズな連携にぜひ役立てていきたいと考えています。

2024年 看護の日

イベント報告

イベント担当 成瀬 まゆみ

今年は4年振りに対面でのイベントを開催することができました。スタッフはアイガードを使用して、1人対応毎に手指消毒を実施、密にならない様、注意しながらの開催でした。

イベント参加数

血糖値測定：49名 体脂肪率測定：38名 血圧・SAT測定：44名
白衣の歴史投票：155名 もの忘れ相談コーナー：4件

外来にみえた多くの患者さんが参加して下さり、久しぶりの賑やかさでした。担当した看護師スタッフも、患者さんと会話しながらイベントが出来て楽しかったとの感想がありました。恒例の結核予防会キャラクター、シール坊やは午前・午後の2回登場！ 緩和病棟も訪問しました。中に入っているのはシール坊や歴ベテランの庶務課スタッフ、さすがの可愛い動きで大人気でした。

参加して下さった患者さんへのプレゼントとして、職員手作りのエコたわしやレース編みなど、この日のために、250個の力作が出来上がりました。受け取られた患者さんは手作りを知って、忙しい中看護看護師さんたちが作ってくれたの？と大変喜んで下さいました。今年はコロナが規制緩和になったとはいえ、まだ感染拡大を恐れながらの準備・開催となったため、前もっての宣伝を行いませんでした。

来年はせっかくのイベントに更に多数の方が参加していただけるようポスターやホームページなどでお知らせ出来たらと思います。イベントに参加いただいた患者さん、ご協力いただいた職員の皆様、ご協力いただいた職員の皆様、ありがとうございました。



緩和病棟の患者さんもニコリ



プロ並みの力作出来ました



白衣の歴史人気投票 1位は昭和～後期(中央ピンクの白衣)



患者さんと楽しく会話できました

新入職員の声



臨床検査部 山本 瑞貴

4月より臨床検査部に入職して2ヶ月が経過しました。

学生から社会人になったことで、責任の重みをより実感しています。行動の一つ一つが患者さんの健康や安全に関わるという意識が強まり、どんなに忙しい状況でも慎重さが求められることを痛感しました。特に採血では一つのミスが大きな事故につながることから、より細心の注意を払うことを心掛けています。

そんなプレッシャーの中でも患者さんからの温かい言葉や先輩方の励ましの言葉が背中を押してくれて今日まで少しずつ成長することができました。これからも日々の学びを大切に、一人前の検査技師になれるように精進していきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

薬剤部 金子 明日香

4月に薬剤部に入職しました。

日々の業務をこなしていくことに精一杯であつという間に過ぎていく毎日に驚いていますが、恵まれた環境の中で働けることに感謝しながら、とても充実した日々を送っています。

経験したことのない業務も多くあり、分からない事ばかりですが、その都度調べたり先輩方に教えていただいたりしながら、業務にあたっています。患者様はもちろん、他の医療従事者の方からも信頼される薬剤師になりたいと思っています。先輩薬剤師の方の姿を見て、自分ならどうするかと考えながら、しっかりと勉強したいと思います。宜しくお願い致します。

2S病棟 藤巻 龍

4月から看護師として2S病棟に配属になり2ヶ月が経ちました。

入職当時は何もわからず不安なこともありましたが、1日の流れや知識、技術について先輩方にご指導いただき、日々勉強しながら楽しく仕事できています。明るく親しみやすい職場で悩み事や相談などしやすい雰囲気です。

一人前の看護師になれるよう頑張っていこうと思います。

どうぞよろしくお願いいたします。

診療支援室 飯田 未来子

4月より医師事務作業補助者として入職し、新外来に配属されました。

当時は学生だった自分が社会人になること、全てが1からのスタートということにとっても不安を感じていましたが、ひとつひとつ丁寧に優しく教えてくださる方ばかりのとても暖かい環境で日々働かせていただいています。

そのため最近は少しずつできることが増えてきているような感じがします。

それでもまだ分からないことがたくさんありますが怖がらず実践から経験を得ることを大切に、患者さんからも職場の方からも信頼されるようにこれからも頑張ります。

よろしくお願いいたします。

大地、震へる前に ②トイレ編（その3：各種掲示） 内山 隆司

（前回までの経過）震災時には「トイレ」の確保が重要であり、当院はトイレセット（シート式）を備蓄している。

清瀬市等震度5弱以上の地震で、全館2階以上に位置する便器を「使用禁止」と「使用可能」に分類し、便器ごとに右ポスター（A4サイズ）のどちらかを掲示する。

立式小便器はすべて「使用禁止」。大便器は扉外側に右ポスターのどちらかを掲示し、「使用禁止」トイレは施錠する。

「使用可能」大便器の数は、本館3Aと4A病棟は男性4、女性4（東西で半々）、他の病棟はそれぞれ男性2、女性2の計画である（患者10人に1便器）。



「使用可能」と言っても、地震後しばらくは「流水禁止」である。流水レバーの近傍に左のポスターを掲示する。他、右下の「トイレセット使用方法」を各扉内側（A3サイズ）と、トイレ共用部分壁面（A1サイズ）に掲示する。

なお、全館1階のトイレは原則、トイレセット無しで使用可能とするが、例外がある。本館玄関入って向かって右側の「男女+車椅子」トイレには下階があり、以前このトイレからの漏水事故があった。今は修理されているが強い地震後には再度の漏水が起こり得る。よって、このトイレは閉鎖（立入禁止テープ）する。

また、地震により断水が起こった場合には、1階トイレも「使用禁止」と「使用可能」に分け、2階以上と同じ対応を行う。



次回「②トイレ編（その4：使用解禁手順）」に続く▶



複十字病院は
公益財団法人結核予防会の病院です

予約・紹介のご案内

- 受付時間**
平日 8:30~17:00
土曜日 8:30~12:00
- 医療機関・紹介状をお持ちの患者さんのご予約**
電話 042-491-9128
FAX 042-491-3553
- 再診・初診（紹介状なし）のご予約**
電話 042-491-6228

複十字病院
〒204-8522 東京都清瀬市松山3-1-24
代表電話 042-491-4111
代表FAX 042-492-4765

複十字病院の理念

複十字病院は、質の高い温かな医療と看護を提供するとともに、医療連携を推進し地域社会が求める包括的な医療の実現を目指します。

交通のご案内

- 電車でお越しの方**
・西武池袋線「清瀬駅南口」より徒歩12分
または、バス「南口2番乗り場」より3分目「複十字病院前」下車
・JR中央線 武蔵小金井駅より「清瀬駅南口ゆき」バス「保育園入口」下車 バス停より徒歩5分
- お車でお越しの方**
・小金井街道「清瀬高校入口」信号を曲がり 西に300メートル
・所沢街道「全生園東」信号を曲がり病院通りを東北に2キロメートル

病院運営の基本方針

- ①呼吸器疾患、がん、生活習慣病を柱とした質の高い温かな医療と看護の充実を図る。
- ②国の高度結核専門施設、東京都（肺がん、大腸がん、乳がん）診療連携協力病院としての役割をはたす。
- ③複十字病院登録医会を中心に医療連携を推進し、在宅医療、救急医療、災害時対応など地域医療に貢献する。
- ④健診事業を発展させ、疾患の早期発見と予防医療を推進する。
- ⑤複十字病院「患者権利章典」を尊重する。